

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

8月

144号



盛夏

涼風
おすまじか
に



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
た なか ひで ひと

人間は生きていく限り、悩みのない人は一人もありません。精神的に弱い人、苦勞を知らぬ人ほど、一度難問題にぶつかると、ここから逃げよう、人が何とかしてくれるだろうと他力に依存する弱さがあります。この軟弱な根性を切り替えぬ限り、いつまで生きても苦しみに追い回され、悩みから脱することはできません。いかなる悩み苦しみがあろうとも、これを持ち越える道を教えているのが仏教です。しかし、せっかく信仰しながらも、いつまで経っても悩みが解消できず悶々^{もんもん}としている人がありますが、それは正しい師匠を得ずして形式のみを知った自己流の信仰であることに自ら気付かねばなりません。理屈をこねまわしたり、高慢な考えの人には仏教の偉大さ、信仰のありがたさは自覚できません。(真実に生きる66号より)

ぶし眞教法話

会長 田た中なか庸つね仁ひと

◇今なすべきことに打ち込む

この秋は 雨か嵐かしらねども

今日の勤めに 田草取るなり（二宮金次郎・尊徳）

今年の秋には雨が降ったり、台風や嵐がやって来て、稲がどうなってしまうか分からないけれど、今日とはとにかく目の前の雑草を取り除くことが大切なんだという意味です。

私たち凡夫ほんぶは、様々な問題に対して、こうすれば大丈夫だといった確信が持てれば安心しますが、逆に保証がない場合は不安に押しつぶされそうになります。大きな問題にぶつかって来た時こそ、いま目の前の足下あしもとのことに全力でぶつかっていく事が大切です。まだ起きぬ先のことを心配し過ぎて立ちすくみ、オロオロ・ハラハラしているのは「愚痴の姿」です。

どうなるかわからない先のことを心配するよりも、目の前でやらなければならぬことに取り組み、おのずと先の心配は薄らぐものです。気になるこ

とが起きたり、嫌な人がどうしても苦になったり、外野から不安や心配なことが聞こえてくる時は、自分のなすべきことに集中していないか、やるべき仕事に迷いや不満がある時なのです。

◇出来事を正しく見る

開祖さまは「いまに良くなる。きつと良くなる。何んとかなる」と自分に言い聞かせることが、運命好転の秘訣だと教えられました。憂えること辛いことに沿わぬことを前向きに考えて、感謝で受け止めることが法華経の生き方なのです。人生は出来事をどのように見、心でどう思うか、どう受け止めるかで決まっていくのです。物事の正しい見方、受け止め方を教えているのが法華経なのです。だから法華経の教えがよく分かれれば、解決しない問題、乗り越えられない問題はないのです。

◇胎教中の思いが現れる

平成十一年の早春のことです。

「先生、外孫娘の産んだ子が生まれたすぐから一日に何度もひきつけを起こし、お医者さんも手を尽くしてはくれています。なかなか良くなりません。心配ではありません。今実家である娘の所に退院してきているので様子に行つてやってくれませんか」と熱心なご信者である老婆から悲痛な電話がありました。早速ご実家にお伺いし、生後間もない可愛らしい赤ちゃんを一心行で拝ませてもらいました。見た目には普通の赤ちゃんと何ら変わった所はありません。詳しく病状を伺いますと、検査の結果、原因は右脳と左脳をつなぐ「脳梁」のうりょうが普通の半分の太さしかないのです、右脳と左脳の情報伝達がうまく行かずひきつけ起こすということです。しかし、現在の医学では、半分しかない脳梁を正常の太さに戻す方法はないのです。とりあえず「てんかんの薬」を飲まして様子を見ましようということです。しかし、このままでは長生きすることは難しいと宣告されたのです。

◇因果の理法で原因を知る

妙法の因果の理法（原因と結果の法則）に照らしてみれば一刀両断、今日の

実り（結果現象）は過去の種まきが原因なのです。知って蒔いたか、たとえ身に覚えはなくても知らぬうちにこぼれ落ちたか、いづれにしても「蒔かぬ種は生えぬ」が大自然の真理です。柿の種を蒔けば柿が実り、梨の種を蒔けば梨の実が実ります。つまり原因と結果は同じであるということです。

今あなたのお子さんの結果現象は、右脳と左脳の連絡通路が半分しかなく、ひきつけを起こすという事です。実家と嫁ぎ先の家風、やり方に大きな違いがあり、どうしても受け入れられずに、お母さんのあなた自身が「もうダメ、ガンマン出来ない」と心にひきつけを起こしているようなことはありませんか？」とお尋ねしました。

「はい、心当たりはあります。実は嫁ぎ先の義母と夫のことでどうしても納得のいかない喜べないことがあります。母はいい人ですが、自分の楽しみごとで毎日朝から夕方まで出かけて、家事はほとんどすべて嫁の私任せです。主人もまじめによく働いてくれる良い夫ですが、やはり休みの日には朝から自分の趣味楽しみに夢中で家のことや子育ては私任せです。最初の子供が生まれる時も、義母からも夫からもほとんど応援もなく孤軍奮闘でしたが、自分さえ頑張れば

と気持ちを切り替え、自分を励ましながら無事出産しました。

しかし、二人目の時は状況が違いました。一人目の時と同様に孤軍奮闘でしたが、違ったのは上の子が三才で「お母さんお母さん」といって何をすることも甘えてくつついて来るので、家事がはかどらず大変でした。そんな時も義母や夫は趣味の楽しみごとで夢中で手助けをしてくれませんでした。

思わず実家の母だったら、実家の父だったら、私や孫のことはきつと一生懸命応援してくれるのに！・・・と決して言葉に出したり、反発的態度に現わしたりはしませんでした。が、いつも心の奥底には不信と不足の思いがありました。それがいけなかったのでしょうか？」

「そうですね。理由の如何を問わず、悪く見たり怒れた人に罪が出るのです。実家（右脳）と嫁ぎ先（左脳）を比較して、心の底から怒れたり不満に思った胎教中の強い念が形に現れたのです。あなたは辛抱強く、表向きの半分は一生懸命親に仕え夫に尽くしてきましたが、内心の半分は受け入れられなかった心使いの通りに左右をつなぐ脳梁が半分しか育っていないのです。今日からは心を切り替え実家と比べず、嫁ぎ先のいい所を見るようにして喜ぶ生活を心がけ

て下さい。そして、毎日赤ちゃんを妙法で拝み、教会にお参りして仏縁を深め陰徳を積んで精進してください。きっとよくなります」とお伝えしました。

この若いお母さんは素直に実行され、赤ちゃんのひきつけは治まっていきました。その後月に一度の経過観察の診断のために通院されましたが、一年後にはふた月に一度となり、その後は半年に一度、一年に一度の受診でよくなり、小学校に入るころには「もう大丈夫です。不思議なことですが、半分しかなかった脳梁が、普通通りに治っています」と医者のお墨付きを頂きました。そのお子さんも今は元気に学生生活を送って見えます。

◇すべては自分が責任者

この事実を見る時、心使いの大切さ、特に心の奥底で何をどう思っているかが現象として現われ、教えにより心を正しく切り替えれば、必ず良い結果として現われると断言できるのです。何事も人のせい世の中のせいにせず、「自分が変われば、相手が変わり、世界が変わる」と信じて人生を送りましょう。それができるようになるには、毎日お経を上げ、法華経の教えを学ぶことです。

今月の運勢（9月）

（2017年9月7日～10月7日）

一 白水星

今月は大きな動きは控えて今年に入ってから今日までの自分を見つめ直し、周囲の状況をよく見究める時です。慌てて結果を求めず、力を蓄えて来月に備えること。

二 黒土星

物事を正しい順序で行えば、すべては円満にうまく行く。目上と目下、主と従が互いの持ち分を理解し、気持ちに通じ合うこと。長所や美点を伸ばし、短所や欠点を削る努力をすること。

三 碧木星

機が熟していないので

事を進めてもうまく行かない。最初に無理をする

と後になつて修正しても、ボタンの掛け違いのように最後まで苦勞する。とりわけ初めがよくなないと終りが危くなるので要注意。

四 緑木星

物事は進んで行きますが、焦つて事を進めてはいけない。水が次第に浸み込むように徐々に順を追つて進めること。万端抜かりなく、細心の注意を払つて進めるなら約束事は成就する。

五 黄土星

太陽の日を浴びて情熱が湧き、周囲のことも

よく見え、アイデアも湧いて来る。反面注目を浴びているので、軽

率な言動には注意し、余計な衝突や争い事は起こさないように。

六 白金星

低迷の時、じっくり構えて動じないこと。争い事に巻き込まれやすい。自分は間違っていないと慢心すると行き詰まる。自分の意見は控え、謙虚に非を認めれば事態は好転する。

七 赤金星

何事も一人でやらず、親しみを持つてみんなで行うよう心掛けるとよい。思わぬ人たちの協力が得られる。

しかし、疑い心のある人とは距離を置きつき

合わぬ方がよい。

八 白土星

枯れ木に花を咲かせ、壊れたものを復活させる力あり。散ったものが元に戻り、去った者が戻つて来る。去った者も許せば友を連れて戻つて来る。凶を吉に変える力あり。

九 紫火星

新しさを取り入れ、新旧の調整をし、融合させ大きく育てることが出来る。トラブルの調整役も買つて出よう。優しさと明るさが発展飛躍の原動力となり願

しあわせ眼鏡

いつも心に思っていることは、
いづれ言葉に出ます。
言葉で言ったことば、知らず知らず
に行動に現われます。
行動を続けければ、それはいつか
習慣になります。
習慣はいつか性格となります。
性格は運命を作り出します。
つまり、心に思っていることが自分の
運命を生み出すのです。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。